

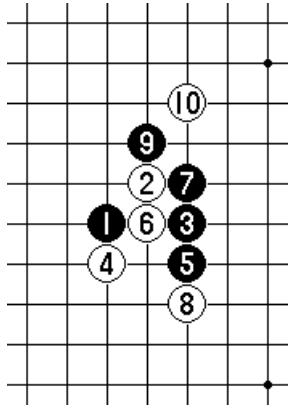
# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

### ●第41回● 恒星からの派生

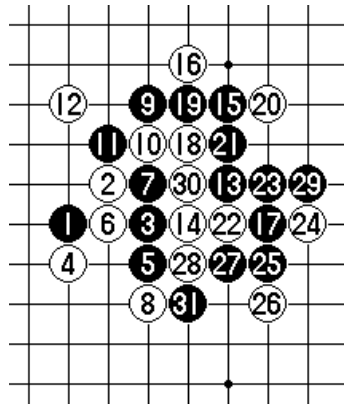
また、会社でリコール処  
理に巻き込まれてしまった  
3年前と同じく、ほとんど  
家に帰れない日が続いてい  
る。よって、今回は書く題  
材が乏しくなっているため  
1Pまとめることとする。

題数指定打ちになってい  
ろんな珠型との共通型が生  
まれてきているのはこれまで語  
ってきた通りだが、今回は  
恒星に焦点を当ててみたい  
白4に対し黒5と打てば水  
月、残月からも共通となる。



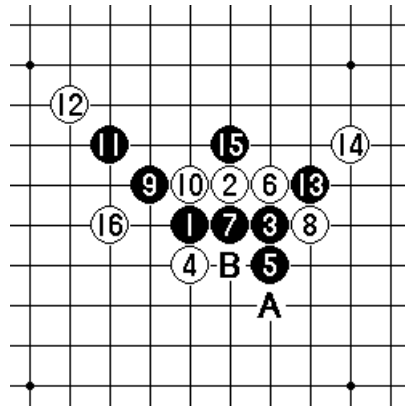
これまでの二題打ちならこ

んな手は絶対打たなかつた  
が、これからはこういう手  
を打たないといけない。  
白6は考えられる防ぎだ  
が、こう打たれると黒は7  
と引いて9と押さえるのが  
良さそうに見える。しかし、  
これには白10と防がれて  
ちよつと困る。



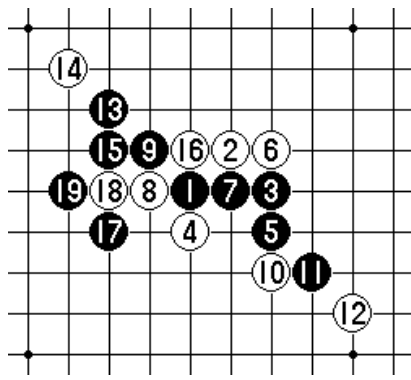
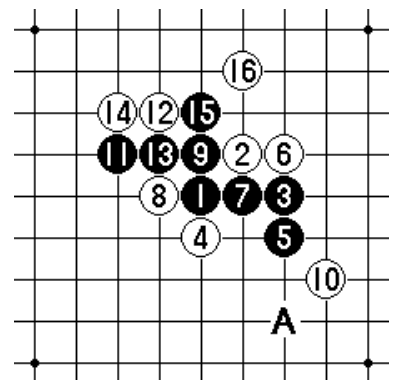
そこで黒9と四ノビをし  
てから11と組む打ち方が  
有力となる。白12なら黒13  
15と呼珠を打つのが良さ  
そう。白16で止まったか  
に見えるが、黒17と飛ぶの  
がうまく、以下31までのノ  
リ切り勝ちとなる。  
しかし、厄介なのは白6

を7の時の防ぎである。こ  
の形はこれまででなかった。  
黒7と引いた時に、白8  
は両方ありそう。白8と  
右から止めれば黒9と呼珠



を打つて良さそうだが、白  
10と平凡に止められても  
勝ちがなさそう。一応、  
黒13、15と急所に先着すれ  
ばこれはこれで一局だろう  
しかし、白8と左から止め  
られた時も勝つのは容易で  
はない。黒9の後、11と打  
ってしまつては、いかにも  
白12と叩いてくださいとい  
う手なので混戦となる。  
ちなみに、白10を反対なら

黒Aで良い。



そこで、黒9と工夫する  
ことになる。白10なら以下  
黒19まで何とかごまかせ  
そう。相手の隙を如何に  
に突くか、が今後のポイン  
トだろう。